

水稻晩生有望系統「石川65号」の育成

1 背景・目的

石川県の水稻主力品種である中生の「コシヒカリ」は、作付けが集中し、収穫作業の遅れや乾燥調製施設稼働に支障が生じている。

このため、「コシヒカリ」より10日程度遅い成熟期で、食味は「コシヒカリ」並、多収の晩生品種を育成し作期の分散を図る。

2 技術のポイント

(1) 「コシヒカリ」に比べ出穂期、成熟期とも10日程度遅い晩生の粳種である。やや長稈であるものの稈質はやや強く、耐倒伏性は「やや強」である。穂長は「コシヒカリ」より長く、穂数が少ない穂重型の草型である。収量性は「コシヒカリ」より勝る。

(2) 玄米の外観品質は「コシヒカリ」並みである。玄米は大粒で、食味は「コシヒカリ」並みの「上の中」である。

表 石川65号の特性

品種・系統名	出穂期 (月/日)	成熟期 (月/日)	稈長 (cm)	穂数 (本/m ²)	精玄米重 (kg/10a)	同左 対標比 (%)	玄米 千粒重 (g)	玄米 外観 品質	食味
石川65号	8/09	9/17	90	318	663	117	26.2	4.1	上中
標)コシヒカリ	7/31	9/07	96	388	565	100	22.6	4.2	上中
比)日本晴	8/11	9/20	88	359	623	110	23.3	3.8	上下

注)平成23~24年系統生産力検定、平成25~26年奨励品種決定基本調査の平均値
玄米外観品質は1(上の上)~9(下の下)の達観調査

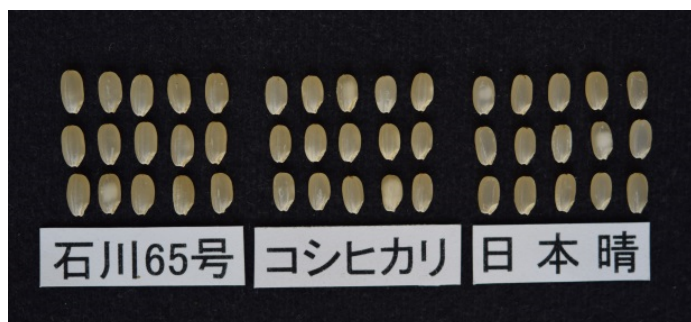


写真1 玄米



写真2 穂

3 成果の活用と残された問題点

(1)平成27年3月種苗登録申請予定。

(2)平成27年度に県下9か所で実証栽培を行い、普及性を検討する。

問合せ先：育種グループ TEL 076-257-6911

担当者：中村啓二・猪野雅哉・松谷 瑛